

育成センターだより

平成30年
8・9・10・11月号
No. 412
長野市少年育成センター
TEL. 228-8547
FAX. 224-0109

長野市青少年健全育成環境浄化強調月間(10月)
子ども若者育成支援強調月間(11月)
児童虐待防止推進月間(11月)



八・九・十・十一月の育成活動

夏休みを過ぎ、子供たちはそれぞれの思いを胸に充実した学校生活を送っていることでしょう。一年の実り多い収穫を迎えるこの時期に当たり、子供たちの確かな成長を見つめ感じ取り、家庭、学校、地域が連携を強め、子供たちとの関わりを深めながら自立を支える環境の浄化、声掛け、非行防止に一層努めてまいりましょう。



ゴミ拾い兼ねて地区巡回活動

育成活動の重点

「子どもの表情、言葉遣い、行動に個々の成長を感じ取る」

子ども自らの自立を支えるために、わずかな変化も目落とさず、成長を見つけ、励まし、見守りを。

「あいさつは

子ども以上に 大人から」

笑顔でさわやかなあいさつを、子供たちにプレゼント。できにくいあいさつだからこそ大人から。

「深夜徘徊は 非行の芽」

深夜の散歩に、遅い帰宅に、愛の一声を。コンビニ前、公園、神社、駐輪場などに愛の眼差しを。

「相談は、受けとめ、寄り添い 語り合い」

相談は、説教、指導の前に、まずはしっかりと聴くことから。そうして共に未来を語り合ひましょう。

今、青少年の健全育成を

どう支えるか

長野市教育委員会
家庭・地域学びの課 課長 広田 貴代美

関係の皆様方におかれましては、日頃から、本市の青少年健全育成のために深いご理解とご協力をいただき、心から感謝申し上げます。

皆様ご存じのとおり、本市は、昭和52年に青少年健全育成の都市宣言をしており、「長野市青少年保護育成条例」を制定し、環境浄化活動などに取り組んでおります。

その甲斐もあって、本市におきましては、ここ数年、青少年の犯罪率が低下しております。皆様の取り組みが、青少年の犯罪率の低下に大きく寄与しているものと考えております。

しかしながら、万引を中心とする初発型非行がなかなか減らないことや、非行の低年齢化、児童虐待の増加が課題であるとともに、近年は、インターネット等を介した児童買春・児童ポルノの被害となる事件が増える等、トラブルの様相がスマホ関連へと移行してきているのが、特徴となっております。

これらの問題の早急な解決を目指して、子供たちにとって安全で安心な環境をつくり、青少年の健全で確かな成長を支援していくことが、社会に強く求められています。対処的な対応のほか、予防的な取り組み、問題の根幹に迫る取り組みも同時に必要になってはなりません。それには家庭と地域住民、学校が温かい共通理解の下、連携した取り組みを行い、青少年の健全育成を支えていくことが大変重要になります。

少年育成センターでは、今年度からインターネットトラブル防止の啓発として、保護者等を対象に、地域や学校へ出向く出前講座を実施しております。青少年の将来は、私たち大人が鍵をにぎっています。そのことを肝に銘じ、日々変化していく青少年を取り巻く現状や環境を共に把握し、学んでまいりましょう。

結びになりますが、青少年の健全育成に對しまして、皆様には、引き続き、御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。



非行防止と健全育成

長野中央警察署生活安全第一課長 丸山満史

関係者の皆様には、平素から警察活動に深い御理解と御協力を賜り、この場をお借りして感謝申し上げます。

昨年の三月に長野中央署に異動してきて、早いもので二年目となりました。長野中央署の勤務は今回が2回目ですが、前回は今から十五年以上前になります。当時を思い出してみると、少年事件の発生が多く、万引の通報は日常茶飯事、年に数回非行少年グループによる傷害事件が発生し、その捜査に追われるという状況でした。

最近の少年非行の発生状況は資料のとおりですが、非行少年の総数は年々減少傾向にあり、数字だけを見ると良い傾向にあると思われま

す。昨年一年間勤務してみて、確かに少年事件の取り扱いには以前に比べると減少しており、数字などおりの傾向にあることを実感しました。今年に入ってから取扱件数に大きな変化はありませんが、昨年と比べると非行少年グループの動きが活発で、逮捕者が出る悪質な事件が発生するなど予断を許さない状況にあります。

警察が取り扱う少年事案は、非行問題や児童虐待、いじめなど多岐にわたりますが、最近ではSNSを利用して犯罪に巻き込まれる少年、中でも児童買春、児童ポルノといった性犯罪に巻き込まれる少年が増え、その状況に危機感を感じています。少年達はSNSで知り合った見ず知らずの人と会うことに抵抗を感じておらず、一方保護者は警察から連絡を受けて、初めて我が子の行為を知るといった現実があります。

傷害事件を起こして逮捕される少年も、SNSを利用して見ず知らずの人と会う少年も、その行動には必ず理由があります。かには理由をしっかりと聞き出して明らかにすることは、再非行防止のための重要なことだと考えます。少年から『本当の理由』を聞き出せるような活動を常に心がけていきたいと思

います。少年の非行防止と健全育成のために引き続き皆様方のご協力をお願いいたします。



少年非行の推移

長野県下		H25	H26	H27	H28	H29
少年非行総数		1215	989	686	536	482
内訳	刑法犯少年	1067	851	572	440	383
	特別法犯少年	142	132	109	94	90
	く犯少年	6	6	5	2	9
長野中央署管内		H25	H26	H27	H28	H29
少年非行総数		291	192	161	80	51
内訳	刑法犯少年	271	186	140	74	43
	特別法犯少年	20	6	20	4	5
	く犯少年	0	0	1	2	3

平成30年度 一日少年育成委員の活動から

巡回指導の体験を通して、青少年健全育成活動に御理解と積極的な御協力を

毎年小中高約20校からPTAの皆様約50名に参加いただき、年間5回に分かれ長野駅中心に街頭指導を体験していただいています。今年も第一回目(6月9日)に2小学校1高等学校から4名の参加をいただき、事前事後の研修と巡回活動が行われました。

参加者の感想から

「初めての体験ありがとうございました。健全育成の為にいろいろな方面からの見守りが必要とわかりました。昔と違う環境を見て指導の仕方も変わってきていると感じました。研修で見たDVD(子供防犯スクール・連れ去り・誘拐編)はとても参考になりました。最近悲惨な小学生連れ去り事件があり、防止するためには危険箇所の確認が大事とわかりました。今日の体験を単Pに戻って伝えます。」

「普段見られない、子供たちが行くいろいろな場所が見られてよかった。高校生の娘にも今日のことを伝え、危険な目に合わないよう話をしていきたい。高校生の保護者はぜひ大勢この活動に参加してもらいたい。今日のことは学校に持ち帰って話しをします。」



巡回前の研修、巡回後の情報交換会



腕章をつけて、店舗を巡回指導

★一般の方の参加も大歓迎です。申込み案内は、育成センターへ直接お申し込みください。

平成30年度 夏休み巡回指導の報告から

● 7/31～8/3 (4日間実施) ●

猛暑の中、110名の学校少年委員が、市内32地区を分担巡回して集めていただいた貴重な情報です。

【長野駅方面・中心市街地】

- 駅 ビル：● 夏休みに入って子ども達がたくさん来ている。
 大量販売店：● 万引きもあるが、学生かは不明。
 ● 18禁コーナーに高校生らしき私服の少年が見えた。
 ゲームセンター：● プリクラには相変わらず圧倒的に女性客が多く、小学生の姿も。
 グッズ等専門店：● 商品が破られて抜き取られる被害が2～3回あった。
 ● 中高生の来店が増えている。
 (6～7月の日中に来店する小・中学生がいた)
 カラオケ店：● 自転車が7～8台あり、高校生が多い。
 ● カップルの行き過ぎの行為が心配。注意や指示に従わない場合は退出もある。
 ● 卒業シーズンに、羽目を外した高校生の来店があり断った。
 映画館：● 小・中・高校生で30人ぐらいた。
 コンビニ店：● マナー、モラルの向上を願う。
 交番：● 駅東口の駐輪場で自転車の盗難が多い。

【若槻方面】

- 交番：● 交差点横断歩道上での立ち止まりの苦情が入ってきた。
 ● 浅川方面で不審者が多い。
 コンビニ店：● 自転車の置き方に問題がある。
 カラオケ店：● 中学生だけ(男女問わず10人ほど)の利用もあるが、時間は守らせている。
 書店関係：● マンガコーナーで集団で立ち読む中高生の姿があったが問題はなかった。
 ● 小中学生と特定できないが、文具類の万引きがある。

【川中島・篠ノ井方面】

- 篠ノ井びんずる祭り：● 篠ノ井・川中島地区の中学生がゴミ拾いをする一方で、高校生の一部が酒・たばこであばれる姿があった。警察に通報した。カードのだまし売りがあり、小学生が被害にあった。
 カラオケ店：● 子どもだけの利用について、学校指導とずれがあると報告を受けた。

【古牧方面】

- カラオケ店：● 親子で来ているが、子どもだけ置いて帰ってしまう親もいた。食べ散らかしが少しあり、注意の声を掛けると、逆に親からクレームが来たことがあった。

【善光寺方面】

- 交番：● 小学生への声かけ事案があったが、他はない。自転車の事故には注意を。
 特に坂や交差点が多いので。

【吉田方面】

- 交番：● 駅前に、たむろする少年たちがいないか注意している。

【大豆島方面】

- スポーツ施設：● サンマリンながのの前に子ども達だけで集まっている事が多い。

【古里・豊野方面】

- スポーツ施設：● プール施設を使う中学生に、音楽がうるさいとの苦情が入りちゃんと注意すると聞き入れてくれた。
 交番：● 小学校2校で自動車との接触事故があり、軽いけがをした。
 コンビニ店：● 決まった児童が、よく朝食と昼食を買いに来ている。

【安茂里方面】

- コンビニ店：● 休日の昼及び夕刻、イトインコーナーで私服の中学生がたびたび騒ぐ。
 交番：● 万引きは減っている一方で、手口が巧妙になっている。
 大型スーパー：● 暴走族がデリシア駐車場を徘徊。

【若里方面】

- 交番：● 自転車事故が多い。
 大型量販店：● 夕方6時以降に子どもだけでゲームコーナーに来る子がいて注意してほしい。
 ゲームセンター：● 中学1年生が集団で来ることもあるが、利用の問題はない。
 大型スーパー：● 小学2～3年生が2人で、中高生は部活帰りに来店することがある。

交番からも、共通して不審者、交通マナーの話題。交通事故の被害・加害に気を付けてくださいとのこと。

少年育成センターの活動が本格化しています ご参加 ご利用をどうぞ

立入調査(コンビニ店)が始まる

市青少年保護育成条例に基づき、有書図書類の区別された配慮ある陳列、青少年の飲酒・喫煙・万引防止への協力依頼など、育成センター職員が市内約二百店舗を回りお願ひしています。6月8日(金)セブンイレブン店舗を皮切りに7月のローソン店舗まで、延べ11日間、122店舗を回りました。どの店舗も立入調査の趣旨を理解いただき調査を快くお受けいただきました。

どの店舗も明るく整然とし清潔感ある店内で、成人向け雑誌、酒類の表示、陳列には明確でわかりやすいものになっていました。煙草販売の扱ひも年齢認証が的確になされて配慮を感じます。店内の客の動きもカメラやミラーで把握し、気になる子には声がけ、学校や警察など関係機関への連絡をしているとお聞きしました。最近では電子マネー振り込み詐欺を未然に防いだと表彰される店もあり、非行・犯罪防止に大変前向きな姿勢を感じました。



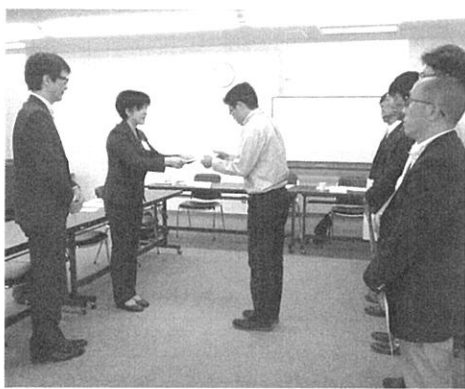
はっきりと、わかりやすく
(青少年健全育成に配慮ある陳列)

少年相談専門委員の活動が始まる

5月17日(木)小中高から7名の先生方が専門委員に推薦され、家庭・地域学びの課長より委嘱書が手渡されました。その後第一回目の委員会が開かれました。今年度は年4回の委員会が予定されています。学校現場の指導事例に学び、成果や課題を各会で発表し、報告していただいています。今年も校種を越えた学び合いに期待しています。

少年相談専門委員

- 委員長 八田 修 (三陽中)
- 副委員長 松村 勅幸 (市立長野高)
- 委員 松浦 智子 (豊野東小)
- 委員 雪入 哲也 (裾花小)
- 委員 宮崎 秀文 (篠ノ井東小)
- 委員 依田 哲也 (篠ノ井西中)
- 委員 大井 徹也 (中条中)



一年間よろしくお願ひします

巡回指導・環境浄化活動関係者研修会開催

5月26日(土)、長野市内各地区の街頭指導・環境浄化活動に携わる方を中心に育成センターにて活動に関わる研修会を開きました。警察本部より青少年の非行・犯罪の現状の報告、育成センターより街頭指導・環境浄化活動の具体と配慮などを研修しました。



子供たちは多くの人たちに見守られていることを改めて感じました
(参加者感想から)

生徒指導係・主事・委員合同研修会開催

6月25日(月)、ふれあい福祉センターで、市内小中高の生徒指導に関わる先生方を対象に、校長会と育成センターが共催で研修を行いました。少年相談専門委員の事例発表、信大教授の上村恵津子先生の講演、小中部会と熱心に百人余の先生が参加されました。



「子供の心の成長を支えるために」レジリエンス(逆境力)を子供にどう育てるか?
(講演から)

困ったら……困る前に

『青少年の相談』は

少年育成センター相談ダイヤルへ
電話 228-8588

月・金曜日

8時30分～17時15分

※匿名でけっこうです。

来所の相談にも応じています。

教材DVDをお貸しします

新規教材を4本購入しました。

- ① 親や先生が知らない子供防犯スクール連れ去り・誘拐編 (24分)
 - ② 中学生の命と心を守る防ごう!性のトラブル (20分)
 - ③ いじめの早期発見と対策シリーズ・保護者編 (26分)
 - ④ スマホの安全な使い方教室 SNSのトラブルに (23分)
- 問合せは少年育成センターへ
電話 228-8547

編集後記

少年の犯罪・非行数が最近10年間連続して減少しています。皆様方による日頃の巡回活動、環境浄化活動、育成活動の賜と心より感謝申し上げます。しかし、喜んでばかりもいられません。初発型非行は相変わらず高い比率ですし、スマホ携帯に関わる被害・加害の増加など、犯罪・非行は形を変えています。このような時だからこそ、これまで以上に子供たちとしっかりと向き合い語り合う支援の基本が求められます。道遠ですが共に頑張っていきたいと思います。